

観光資源開発事業について

經濟部 観光振興課

事業目的および事業費

■ 事業目的

市内外のイベント等への出展のほか、各種パンフレットやノベルティ、メディアを活用した情報発信等により本市の魅力を広く県内外にPRする。

また、市内の観光資源の調査・発掘および磨き上げを行うとともに、おもてなしの推進等受け入れ体制の強化により、観光面での魅力向上を図り、観光誘客ならびに地域経済の活性化につなげることを目的とする。

■ 事業費（令和4年度実績）

9,533,341円

（主な事業） 筑西市観光振興推進協議会補助金 5,000千円
観光プロモーション映像制作 2,000千円
ポケット版ガイドマップ印刷製本費 500千円

実施事業概要

1 筑西市観光振興推進協議会

- ①ちくせいの夏休みスタンプラリー
- ②ファミリー向け情報メディア「いこーよ」との連携
- ③食資源の磨き上げ
- ④ちくせいまちづくりキャンパスチャレンジカップ2022
- ⑤イバラキセンス筑西市フェアと連動したPR

2 観光プロモーション映像制作

3 ガイドマップ・ノベルティの作成

4 近隣自治体との連携によるバスツアーの実施

～筑西市観光振興推進協議会～

既存観光資源の洗練と新たな観光資源の発掘による観光客誘致を目的として、平成28年度に官民一体となり設立。「筑西市観光推進のためのアクションプラン」を作成し、具現化のための各種施策を実施する。

筑西市観光振興推進協議会

① ちくせいの夏休みデジタルスタンプラリー

スマートフォンを活用した非接触型周遊企画として開催。
参加者の属性（性別・居住地）や時間帯、周遊順等のデータを集約しつつ、周遊促進による地域経済の活性化につなげることを目的とする。

○開催期間

令和4年7月28日（木）～9月27日（火）

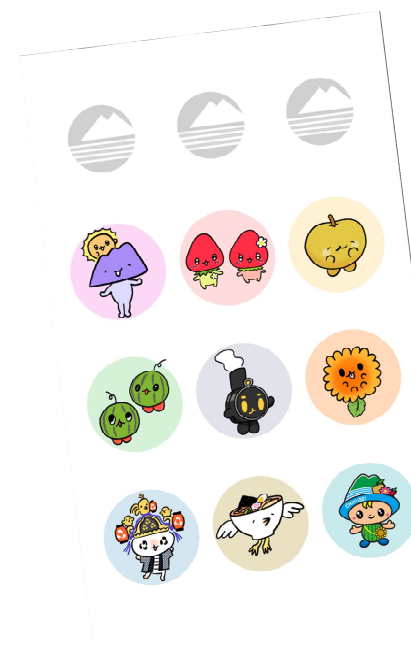
○登録スポット 80箇所

- ・ るるぶ掲載施設および店舗
- ・ 筑西市観光協会優良産品認証店

○参加実績

参加登録者 939名

延べスタンプ取得数 2060箇所



筑西市観光振興推進協議会

②ファミリー向け情報メディア「いこーよ」との連携

年間約5億PV以上を記録する、主にファミリー層が利用するものとして日本最大級のメディア『いこーよ』と連携した情報発信を実施。



茨城県の西部に位置する筑西市は、JR、真岡鐵道、関東鉄道の3つの路線が乗り入れ、東京からも電車で約70分と充実した交通アクセスが魅力です。のどかな田園風景が広がるまちには、自然を満喫できるスポットやイベントがいっぱい。下館ラーメンをはじめとするご当地グルメも充実し、週末のお出かけにもぴったりです。

遊び・体験・グルメが充実！筑西市の親子旅・体験レポート

話題の道の駅からSL旅 ソーセージ作りまで満喫



筑波山をのぞむ自然豊かなまち、筑西市。下館駅周辺のコンパクトなエリアに観光スポットが集まり、日帰りや1泊での気軽な家族旅におすすめです。そこでパパと子供たち2人が筑西市におでかけし、このまちならではの体験を満喫！

道の駅でたっぷり遊んだら地産の食材でBBQ♪ そのほかソーセージ作りやSL乗車体験、地元民に人気のご当地グルメなど、筑西市観光を楽しんだ様子をレポートします。

[体験レポートを見る！](#)

北関東最大級！楽しみ方無限大 道の駅グランテラス筑西

○筑西市まち紹介ページの作成

市の概要やイベント情報、各種HPなどを掲載

○筑西市特設ページの作成

道の駅、日本ハム下館工房、宮山ふるさとふれあい公園、SLなど親子で楽しめるコンテンツを紹介

○親子モニター記事の作成

市内の主要な観光資源をモニター親子に体験してもらい、その様子を体験記事として作成

筑西市観光振興推進協議会

③食資源の磨き上げ

筑西市の強みである農産物・グルメの磨き上げを行い、本市ならではの食資源を活用した年間を通じた観光誘客を図る。

○食部会の発足

飲食業・食品加工業を中心としたワーキングチームを発足し、会議等を開催。 R4年度：3回



○重点品目（常陸秋そば、梨、井上さつま）の選出

生産量、知名度、将来性等を勘案し、上記3品目を重点品目として選定。

○現状調査・試食会の開催

JA北つくばへの現状聞き取り、常陸秋そば・井上さつま等を使った試作品の試食会を実施。



筑西市観光振興推進協議会

④ちくせいまちづくりキャンパスチャレンジカップ2022

本市内外の大学生・高校生等を対象に、観光まちづくりの企画提案を募集し、新しい知見やアイデアを発掘する参加型プレゼンテーションイベントとして実施。



○参加チーム 5校（うち、高校1校）

○テーマ ダイヤモンド筑波

○副賞 次年度活動資金15万円＋提案企画の実現

○審査方式 オンラインプレゼン＆質疑応答

○優勝チーム F.D.L.SUNRISE（東京国際大学）
→提案のあったダイヤモンド筑波前日の夜型コンテンツは次年度実施予定



資料はこちら



筑西市観光振興推進協議会

⑤イバラキセンス筑西市フェアと連動したPR

筑西市農政課と連携し、本市産農産物のPRとして県アンテナショップ「イバラキセンス」にて筑西市フェアを開催。（R5.3.11（土）～17（金））

○イバラキセンスでの現地PR（R5.3.11）

現地にて、旬を迎えた筑西市産こだますいか、いちごの試食・販売会の実施。

○ダイニングで使用する食材の提供

筑西市産そば粉を使った半生麺を提供し、ダイニングにて期間限定メニューとして販売。

○JR有楽町駅へのPRポスターの設置

フェア期間に合わせて、JR有楽町駅（平均乗車人数：102千人）に観光PRポスターを掲示。



観光プロモーション映像制作

本市の観光資源を活用したプロモーション映像を制作し、TVタイアップ・動画配信など効果的な発信をすることで、知名度向上および交流人口増による地域活性化を目的とする。



○プロモーション映像制作（宮山ふるさとふれあい公園）

昨今のアウトドアブームもあり、リニューアル以降、利用者から好評を得ているキャンプ場をPRする映像を制作し、動画サイト・テレビCMなどで配信。

○テレビ番組タイアップ

番組名：まろに☆え～るTV（とちぎテレビ）

（第1回）こだますいか収穫体験・いちご狩り

youtube再生数4.4万回（R5.5.12時点）

（第2回）宮山ふるさとふれあい公園

youtube再生数5.7万回（R5.5.12時点）



ガイドマップ・ノベルティの作成 近隣自治体との連携によるバスツアーの実施

○ポケット版まちあるきマップの作成

主要な観光資源に加え、飲食店、駅からの二次交通等を掲載した持ち歩き用ポケット版マップの制作。

○PR用ノベルティの作成

主に若年層をターゲットとした印象的かつ手に取りやすいPR用ステッカーを作成し、イベント等で配布。



○結城・筑西・桜川3市を巡るバスツアーの開催

「結城・筑西・桜川観光連絡協議会」主催による晩秋のバスツアーを開催。当市では、吉野農園でトマト狩り体験を行った。

○市外・県外における観光PRの実施

観光入込客数の推移について 今後の展望について

○観光入込客数の推移 ※県作成「茨城の観光レクリエーション現況」より抜粋

平成29年度 642,900人

平成30年度 570,800人

令和元年度 1,507,700人 ※令和元年7月 道の駅グランテラス筑西開業

令和2年度 1,114,600人 ※令和2年1月 新型コロナウイルス感染症 国内で初の感染者を確認

令和3年度 1,145,300人

○今後の展望について

コロナ禍の終息と共に本格的な観光需要の回復が見込まれることから、るるぶ筑西市の大幅刷新やプロモーション映像による情報発信を強化しつつ、各種イベントへの出展等積極的なPR活動に努めたい。また、筑西市観光振興推進協議会と連携を図りながら、通年楽しめるコンテンツの開発（特に食資源）ならびに受入れ体制の強化を行い、観光誘客による地域経済の活性化につなげていきたい。